



# 目次

インターネット時代のユダヤ人伝道.....	3
はじめに.....	3
ある青年の救い.....	4
エゼキエルの預言.....	5
イスラエルにおける人口統計.....	5
イスラエル論を見失った教会.....	6
イスラエルを祝福するとは.....	6
エゼキエルの2番目の預言.....	7
証しの動画.....	9
ラビたちの反論に対する反論.....	9
迫害.....	10
応答.....	10
終わりに.....	11
携挙はいつ起こるのか.....	13
はじめに.....	13
1. 預言解釈の重要性.....	13
2. 携挙と再臨の区別.....	13
3. 携挙と再臨の違い.....	16
4. 終末論に関する3つの共通認識.....	16
5. 携挙のタイミングに関する諸説.....	17
6. アウトライン.....	17
I. 患難期後携挙説.....	18
1. 携挙は、大患難時代の終わり、あるいは、終わりに近い時に起こる。.....	18
2. 聖句.....	18
3. その他の証拠.....	19
4. 患難期後携挙説の弱点.....	20
II. 患難期中携挙説.....	21
1. 携挙は、大患難時代の中で起こる。.....	21
2. 聖句.....	21
III. 神の御怒り前携挙説 (pre-wrathrapture).....	23
1. 患難期中携挙説に似た説に、神の御怒り前携挙説 (pre-wrathrapture) がある。.....	23
2. 神の御怒り前携挙説 (pre-wrathrapture) の弱点.....	24
IV. 患難期前携挙説.....	25
1. 携挙は、大患難時代の前に起こる。.....	25
2. キリストの来臨はいつか分からないが、携挙はすぐにでも起こり得る。.....	25
3. 聖書の根拠.....	25
4. 携挙は、いつでも起こり得る (imminent).....	27
5. 再臨が「imminent」なものであることを信じる信仰の歴史.....	28
まとめ.....	29
賛美.....	31



# インターネット時代のユダヤ人伝道 —— イスラエルで進行中の霊的覚醒 ——

エイタン・パール（イスラエル聖書大学（ICB））

## はじめに

- (1) すこし前までは、メシアニック・ジューはごく少数であった。
  - ① 1948年には、イスラエル国内のメシアニックジューは30人であった
  - ②過去3年間で、劇的な変化が起こりつつある。
  - ③きょうのテーマは、その劇的な変化に関するものである。
  
- (2) <Promo Video> 3分間ビデオの紹介
  - ① ONE FOR ISRAEL が制作したビデオ
  - ②イスラエル聖書大学（ICB） = ONE FOR ISRAEL (I am also the one for Israel)
  - ③ ONE FOR ISRAEL 代表：エレス・ソレフ博士
  - ④別の上司もいる。
  
- (3) <Family Picture Image> 預言の成就
  - ①私の名前は、エイタン・パール
  - ②イスラエル国内で、ユダヤ人伝道の先頭に立っている。
  - ③ ONE FOR ISRAEL の働きの一環としてこれを行っている。
  
- (4) 2600年前に与えられた預言が、今日どのように成就しつつあるか。

## ある青年の救い

### (1) <My Name Slide> カナダへの旅

- ① 10代のユダヤ人青年と旅に出かけよう。
- ② 彼は15歳で、イスラエル国外に出たことがない。
- ③ 両親が離婚した。
- ④ そのため、カナダで6週間過ごすことになった。

### (2) 彼は、その内の2週間を、クリスチャンのカナダ人一家と過ごすことになった。

- ① 「バイブルキャンプ」に連れて行かれた。
- ② 黄色のスクールバス（映画でしか見たことがない）に乗って、キャンプ場に。
- ③ 悲しさ、自己憐憫<sup>れんびん</sup>、ホームシック
- ④ 父親にイスラエルに戻って欲しいと懇願した。
- ⑤ 父親は、今は時ではないと言った。

### (3) イスラエル育ちの青年の人生観

- ① ユダヤ人である自分は、異邦人に勝る人間であり、より重要である。
- ② 自分は選びの民の一員なので、天国に席が用意されている。

### (4) イスラエルから遠く離れた国で、彼が目撃したこと

- ① 異邦人が、「彼の神」に向かって賛美している。
- ② 異邦人が、「彼の聖書」を読んでいる。
- ③ 異邦人が、「彼の神」に祈っている。  
\* 祈祷書からではなく、心から祈っている。
- ④ 彼は、異邦人信者たちに「妬み<sup>ねた</sup>」を覚えた。  
\* つまり、「妬みに駆り立てられた」のである。

### (5) イスラエルに帰国してからの体験

- ① イエスを信じたことは、秘密にしておいた。
- ② 母親に自分の信仰を告白した途端に、ハルマゲドンの戦いが起こると思った。
- ③ 学校や町では、彼がただ一人の信者であった。孤独感があった。  
\* 当時、イスラエルではそのような状態であった。
- ④ 神への真摯な祈り  
\* 自分ために大きな計画がないなら、命を取って欲しい。

- (6) この青年は、17 年前の私である。
- ①状況は大きく変わった。
  - ②現在、2 万人～3 万人のメシアニックジューがいる。

## エゼキエルの預言

- (1) <Bones slide> 2600 年前のエゼキエルの預言
- ①エゼキエル 36 : 24 ~ 26

<sup>36 : 24</sup> わたしはあなたがたを諸国の民の間から連れ出し、すべての国々から集め、あなたがたの地に連れて行く。

<sup>25</sup> わたしがきよい水をあなたがたの上に振りかけるそのとき、あなたがたはすべての汚れからきよめられる。わたしはすべての偶像の汚れからあなたがたをきよめ、

<sup>26</sup> あなたがたに新しい心を与え、あなたがたのうちに新しい霊を授ける。わたしはあなたがたのからだから石の心を取り除き、あなたがたに肉の心を与える。

- ②エゼキエル 37 章「枯れ骨の谷の幻」
- ③ 1 つの幻と 2 つの預言
- ④神はエゼキエルに、預言せよと命じる。
- ⑤エゼキエルは、枯れ骨に肉が付くのを見た（まだ死んだままである）。
- ⑥神は、2 度目に預言せよと命じる。
- ⑦神の霊が下り、死者たちは、生きた非常に多くの集団となった。
- ⑧ここには 2 段階の回復がある。
  - \* 肉体の復活（神がイスラエルを約束の地に帰還させている）
  - \* しかし彼らは、霊的には死んだままである。

## イスラエルにおける人口統計

- (1) <Israeli flag slide> ユダヤ機関の統計
- ① 2013 年、イスラエルのユダヤ人の人口が、ディアスポラのユダヤ人の人口を上回った。
  - ②過去 2000 年で初めての出来事である。
  - ③イスラエルは大国ではない。

- ④ 70年前には消滅の危機にあった。
- ⑤イスラエルの存在は、神の忠実さの証明である。
- ⑥イスラエルの神こそ、称えられるべきお方である。

## イスラエル論を見失った教会

### (1) 「置換神学」

- ①多くのクリスチャンが、聖書的イスラエル理解を持っていなかった。
- ②言語も、土地も、希望も持たない国民が、なぜ生き延びることができるのか。
- ③土地をなくした民は、3世代後には消え去る。
- ④「置換神学」という新しい概念が誕生した。神はイスラエルを見捨てた。
- ⑤「置換神学」には問題点がある。
- ⑥ローマ 11：1

11:1 すると、神はご自分の民を退けてしまわれたのですか。絶対にそんなことはありません。この私もイスラエル人で、アブラハムの子孫に属し、ベニヤミン族の出身です。

- ⑦もし神がイスラエルを見捨てたとするなら、私たちの救いの確信も揺らぐ。
- ⑧「エルサレムの平和のために祈れ」(詩 122) は、よく引用される。
- ⑨ローマ 10：1 は、どうか。

10:1 兄弟たち。私が心の望みとし、また彼らのために神に願い求めているのは、彼らの救われることです。

- ⑩創世記 12：3 は、どうか。

12:3 あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。」

## イスラエルを祝福するとは

- (1) <Jerusalem Slide> 福音派のクリスチャンが考える 3つの方法
  - ①ユダヤ教の会堂や入植地の建設に協力すること

- ② IDF（イスラエル国防軍）を支援すること
- ③ 人道的援助やユダヤ人のイスラエルへ帰還を支援すること

(2) 最も重要な方法が欠けている。

- ① イスラエル政府は、キリスト教団体がイスラエル国内で福音を宣べ伝えることを許可していない。
- ② しかし、私たちメシアニックジューはイスラエル市民である。
- ③ 貧しい人たちに食事を与えることは、悪いことではない。
- ④ しかし胃袋を満たしても、地獄に行くなら、それがなんになるのか。
- ⑤ 「パン」よりも「いのちのパン」の方が重要である。
- ⑥ イスラエルを祝福する最高の方法は、イエスを紹介することである。

## エゼキエルの 2 番目の預言

(1) 新しい心と霊

- ① ローマ 11 : 15

11:15 もし彼らの捨てられることが世界の和解であるとしたら、彼らの受け入れられることは、死者の中から生き返ることではなくて何でしょう。

(2) <religious slide> イスラエル人の霊的状态

- ① イスラエルの人口（850 万人）の 99.7% はイエスをメシアとは信じていない。
- ② その理由は？

(3) GATE KEEPERS( 正統派のラビたち ) の存在

- ① ユダヤ人の歴史の中では、霊的メッセージは、門番の承認を必要とした。
- ② 正統派のラビたちは、福音を拒否した。
- ③ マタイ 23 : 13

23:13 わざわいだ。偽善の律法学者、パリサイ人。おまえたちは人々から天の御国をさげぎっているのです。自分も入らず、入ろうとしている人々をも入らせません。

- ④ 過去 2000 年間、扉は閉ざされたままである。
- ⑤ ユダヤ人に福音を伝えるためには、どうしたらよいのか。



- (4) <crusade slide> 伝道とは改宗と同じ意味を持っていた。
- ①異端審問、ポグロム、イエス殺しの犯人、十字軍、ホロコースト
  - ②今、劇的に改善された方法が見つかった。
- (5) ユダヤ人とイスラエル国籍を持ったアラブ人が、ともに福音を伝えている。
- ①これは、正統派のラビたちを迂回した伝道法である。
  - ②私たちが伝えるイエスは、金髪で青い目のイエスではない。
  - ③ローマ・カトリック教会で 2000 年間十字架に着いているイエスではない。
  - ④私たちは、ユダヤ人の「イエシュア」を伝える。
- (6) <media slide> ネット環境
- ① 99%以上が、ハイスピード・インターネットにコネクしている。
  - ②オンライン上で過ごす時間は、世界一である。  
\*米国人よりも 60%多い。
  - ③ 100 人ごとに 122 台のコンピュータを所有している（世界一）。
- (7) <smartphones slide> スマートフォン
- ①モバイルフォンの使用時間の 70%は、ネットサーフィンのためである。
  - ②ひとり当たりのスマホの所有台数は、台湾に続いて 2 位である。
  - ③ユーチューブの視聴時間は、世界一である。
  - ④ 18 歳～ 34 歳の 97%が、フェイスブックを使用している。
  - ⑤正統派のラビたちを迂回した伝道法は、オンライン上の伝道である。
- (8) <radio slide> ラジオ伝道
- ①イスラエルで唯一のクリスチャン・ラジオ局
- (9) <NewTestament slide> 新約聖書
- ①私たちのウェブサイトでは、さまざまな階層の人たちをターゲットにしている。
  - ②新約聖書のウェブサイトが、その一例である。
  - ③イスラエルでは、コーランも含めてどんな本でも手に入る。
  - ④しかし、新約聖書を販売している書店はない。
  - ⑤一般のイスラエル人は、新約聖書を読んでいるところを見られるのを好まない。
  - ⑥私たちのサイトで、新約聖書を読んだり、聞いたり、無料で注文したりできる。

## 証しの動画

### (1) <Anastasia> ユダヤ性とイエスを信じる信仰

- ①ラビたちは、ユダヤ人であることとイエスを信じることは、両立しないと言う。
- ②その証拠に、イエスを信じるユダヤ人は存在しないと言う。
- ③そこで、およそ 20 話の証しの動画（ヘブル語）を制作した。  
\* ユダヤ人とイスラエル国籍を持つアラブ人
- ④過去 3 年間で、200 万回を超える視聴数があった。

### (2) <Mottel's slide> 英語の証し

- ① 70 話を超える英語の証しを制作した。
- ②証しの動画見て怒りを覚えたユダヤ人たちは、批判的なコメントをソーシャルメディアに書き込んだ。
- ③彼のコメントは、フェイスブックを通して友人たちに送られた。
- ④結果的に、証しの動画が、より広範囲の人に届けられることになった。  
\* 「注意！誰もこのビデオを見てはならない」
- ⑤過去 30 ヶ月の間に、1300 万回以上の視聴数があった。

## ラビたちの反論に対する反論

### (1) <Apologetics slide> ユダヤ的弁証論

- ①イエスを拒否するラビ的議論に対する回答も用意している。
- ②カトリックの信者は、法王を批判しない。
- ③それと同じように、ユダヤ人たちはラビたちを批判しない。
- ④その状況が 2000 年間も続いてきた。

### (2) 私たちの反論

- ①私たちは、イエスの名によってラビたちに反論する。
- ②彼らは、イエスの名を最も嫌っている。
- ③ラビ的議論に対する反論のビデオが 150 話もある。  
\* 「神の子」、「メシア預言」
- ④ 3 年前にこれを始めてから、救われるイスラエル人がほぼ毎日起こされている。

## 迫害

### (1) <Rabbis slide> 成功に伴う迫害

- ①殺人予告は、日常茶飯事になっている。
- ②しかし私たちは、迫害する者たちを愛している。
- ③彼らの救いのためなら、命は惜しくない。
- ④彼らのために、祈ろう。

## 応答

### (1) Racheli (テル・アビブ在住、15歳)

「子どものころから、イエシュアについて間違っ​​て教えられてきました。二日前に、歴史の授業で、2000年前に新しい宗教が誕生したと教えられました。キリスト教のことです。イエシュアが憐れみの人であったことに驚きました。そして、その翌日、ユーチューブであなたのサイトのCMを見ました。いつもは、CMはスキップするのですが、その時は見てみることにしました。感動を覚えたので、それ以外にも52話のビデオを見てしまいました。その結果、私は決心しました。真理は、皆さんの側にあります。私が親しんできたラビ的ユダヤ教にはそれがありません。ラビ的ユダヤ教は、人間的な動機や誤った教えに満ちており、結論的には、人間が作った宗教だと言えます。私には劇的な体験談や超自然的な啓示はありませんが、真理を見出しました。後戻りはしません。…嘘ではなく、真理の中で生きることは大切なことです。私は高校生で、私の周りに信者はいません。私が信仰告白をしたなら、人々は怒るでしょう。でも、私にとっては、イエシュアに従う者としていかに生きるべきかをもっと知ることの方が大切です」

### (2) テクノロジーは、人々に「イエスにある永遠のいのち」を提供している。

- ①サタンがテクノロジーを利用しているなら、私たちもそうすべきである。
- ②人々は、他人の目を気にすることなしに、イエスについて学ぶことができる。

### (3) 私たちは、イスラエルにおける「キリスト教の顔」となった。

- ①全国放送で、複数回取り上げられた。

### (4) <Michael slide> ミカエルの証し

- ①彼は、セクトやラビたちの教えに従ってきたが、満足感はなかった。
- ②なぜ人々がイエスを憎むのか、その理由が分からなかった。

(5) トラックの運転手

- ①「イザヤ書 53 章を読み」
- ②私たちのサイトを見つけた。3 ヶ月間、質問してきた。
- ③教会に通い始めたが、会堂にも通っている。

(6) 世界で唯一のヘブル語の聖書大学

- ①信者になると、家から追い出されることがよくある（奨学金）。
- ②ユダヤ人とアラブ人の牧師たち
  - \*中東における平和は、地政学ではなく、イエスによって得られるものである。
- ③中東における問題が霊的なものであるなら、解決も霊的なものである。

(7) <Video Pastors> リバイバル

- ①イスラエルにおいてリバイバルが始まりつつある。
- ②みなさんの援助なしに、私たちだけでこれを行うことはできない。
- ③私たちは、ユダヤ人の文化、考え方、言語、歴史を知っている。
- ④私たちは、外国人ではなく、イスラエル人である。
- ⑤しかし、イスラエル国外では余り知られていない。

終わりに

(1) 民数記 6 : 24 ~ 26

וְיִשְׂמְרֶךָ הוֹדִי בְרַכְךָ  
 וְיִצְנֶנָּה אֵלֶיךָ פָּנָיו הוֹדִי יְאֵר  
 שְׁלוֹם לְךָ וְיִשָּׂם אֵלֶיךָ פָּנָיו הוֹדִי יֵשׂא

6 : 24 『【主】があなたを祝福し、あなたを守られますように。  
 25 【主】が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。  
 26 【主】が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。』



# 携拳はいつ起こるのか

中川健一

(ハーベスト・タイム・ミニストリーズ代表)

## はじめに

### 1. 預言解釈の重要性

- (1) 聖書全体の中で、およそ3分の1が預言に関するものである。
  - ①その中で中心的なテーマは、再臨に関する希望である。
- (2) しかし、終末預言の解釈には、さまざまなものがあり、混乱させられる。
  - ①ついには、「結局は誰にも分からないのだ」と主張する者まで出る。
  - ②本当に、それでよいのだろうか。
  - ③携拳と再臨は、クリスチャンにとって「大いなる希望」である。
  - ④終末論の学びは、今をいかに生きるべきかということに直結している。

### 2. 携拳と再臨の区別

- (1) 携拳と再臨は、混同されやすい。
  - ①ある聖句が、携拳と再臨のいずれを指しているのか、判断が難しい。
  - ②しかし、終末論を理解するためには、両者の区別が極めて重要である。

- ③携挙と再臨が同じ出来事なら、教会は大患難時代を通過することになる。
- ④携挙と再臨が同じ出来事なら、再臨は目前に迫っているとは言えない。
  - \*再臨の前提条件となる出来事が、いくつかある。

## (2) 携挙という用語

### ① 1 テサロニケ 4：17

4:17 次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。このようにして、私たちは、いつまでも主とともにいることとなります。

- \*「引き上げる」は、「ハルパゾウ」（ギリシア語）、ラテン語で「raputo」。
- \*英語の「the Rapture」は、ラテン語から出た神学用語である。

- ②携挙とは、教会がキリストによって天に上げられることである。
  - \*教会とは、すべての真の信者のことである。
  - \*普遍的教会のことである。

## (3) 聖書は、6種類の携挙を記録している。

- ①エノク（創 5：24、ヘブ 11：5）
- ②エリヤ（2列 2：1、11）
- ③主イエスの昇天（マコ 16：19、使 1：9～11、黙 12：5）
- ④パウロ（2コリ 12：2～4）

12:2 私はキリストにあるひとりの人を知っています。この人は十四年前に——肉体のままであったか、私は知りません。肉体を離れてであったか、それも知りません。神はご存じです、——第三の天にまで引き上げられました。

3 私はこの人が、——それが肉体のままであったか、肉体を離れてであったかは知りません。神はご存じです、——

4 パラダイスに引き上げられて、人間には語ることを許されていない、口に出すことのできないことばを聞いたことを知っています。

- ⑤普遍的教会
- ⑥大患難時代における二人の証人（黙 11：3、11～12）

## (4) 携挙に関連した代表的な聖句

- ①ヨハネ 14：1～3

- 14:1 「あなたがたは心を騒がしてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。  
 2 わたしの父の家には、住まいがたくさんあります。もしなかったら、あなたがたに言うておいたでしょう。あなたがたのために、わたしは場所を備えに行くのです。  
 3 わたしが行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。」

## ② 1 コリント 15 : 51 ~ 53

- 15:51 聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみな、眠ることになるのではなく変えられるのです。  
 52 終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。  
 53 朽ちるものは、必ず朽ちないものを着なければならず、死ぬものは、必ず不死を着なければならないからです。」

## ③ 1 テサロニケ 4 : 13 ~ 18

- 4:13 眠った人々のことについては、兄弟たち、あなたがたに知らないでいてもらいたくありません。あなたがたが他の望みのない人々のように悲しみに沈むことのないためです。  
 14 私たちはイエスが死んで復活されたことを信じています。それならば、神はまたそのように、イエスにあって眠った人々をイエスといっしょに連れて来られるはずでです。  
 15 私たちは主のみことばのとおりに言いますが、主が再び来られるときまで生き残っている私たちが、死んでいる人々に優先するようなことは決してありません。  
 16 主は、号令と、御使いのかしらの声と、神のラッパの響きのうちに、ご自身天から下って来られます。それからキリストにある死者が、まず初めによみがえり、  
 17 次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。このようにして、私たちは、いつまでも主とともにいることとなります。  
 18 こういうわけですから、このことばをもって互いに慰め合いなさい。」

(5) 以上の聖句は、携挙の時に以下のことが起こることを教えている。

- ①キリストは、号令と、御使いのかしらの声と、神のラッパの響きのうちに、天から下って来られる。
- ②死んでいた信者の魂は天から下り、体と結合して栄光の体に甦る。



- ③地上で生きている信者の体は、そのまま栄光の体に変えられる。
- ④両者は、空中で主イエスと会う。これ以降、信者がキリストから離れることはない。
- ⑤このことは、一瞬の内に起こる。プロセスを踏んで起こるのではない。
- ⑥教会時代の聖徒たちは、キリストとともに父の家に帰り、用意された住まいに住む。

(6) 再臨とは

- ①主イエスは、反キリストを破り、悪を滅ぼすために地上に戻ってこられる。
- ②黙示録 19：11～16
- ③その後、主イエスは、地上に千年王国を設立される。

### 3. 携挙と再臨の違い

- (1) 携挙では、信者は空中で主と会う (1 テサ 4：17)。  
\*再臨では、信者は主とともに地上に戻ってくる (黙 19：14)。
- (2) 携挙は、大患難時代の前に起こる (1 テサ 5：9、黙 3：10)。  
\*再臨は、大患難時代の後に起こる (黙 6～19章)
- (3) 携挙は、気づかないうちに、瞬時に起こる (1 コリ 15：50～54)。  
\*再臨は、すべての人が目撃する出来事である (黙 1：7、マタ 24：15～30)。
- (4) 携挙は目前に迫っている (imminent) (テト 2：13、1 テサ 4：13～18)。  
\*再臨は、終末に起こるいくつかの出来事の後にやって来る (2 テサ 2：4、マタ 24：15～30、黙 6～18章)。

### 4. 終末論に関する 3 つの共通認識

- (1) 以下の 3 点に関しては、大多数のクリスチャンが同意する。
  - ①人類の歴史上見なかったような苦難の時 (大患難時代) がやって来る。
  - ②大患難時代の後に、キリストは地上に御国を打ち立てるために再臨される。
  - ③教会の携挙が起こる。
- (2) 同意できないのは、携挙がどのタイミングで起こるかという点である。
  - ①携挙のタイミングに関する明確な啓示がないからである。
  - ②それゆえ、厳密な聖書解釈が要求される。

## 5. 携挙のタイミングに関する諸説

- (1) 患難期前携挙説 (pre-tribulationism)  
①携挙は、大患難時代の前に起こる。
- (2) 患難期中携挙説 (mid-tribulationism)  
①携挙は、大患難時代の間におこる。
- (3) 患難期後携挙説 (post-tribulationism)  
①携挙は、大患難時代の最後に起こる。

## 6. アウトライン

- (1) 患難期後携挙説 (post-tribulationism)
- (2) 患難期中携挙説 (mid-tribulationism)
- (3) 御怒り前携挙説 (pre-wrathrapture)
- (4) 患難期前携挙説 (pre-tribulationism)

## I. 患難期後携挙説

### 1. 携挙は、大患難時代の終わり、あるいは、終わりに近い時に起こる。

- (1) つまり、教会は7年の大患難時代を通過するということである。
- (2) この説では、携挙と再臨がほぼ同時に起こることになる。
  - ①聖徒たちは天に挙げられ、空中でキリストと出会う。
  - ②次に、地上に御国を設立するために、キリストとともに地上に戻ってくる。
  - ③つまり、携挙と再臨を連続した一つの出来事と見るのである。
- (3) この説を支持する教派
  - ①カトリック教会
  - ②ギリシア正教会
  - ③多くのプロテスタント教会

### 2. 聖句

#### (1) マタイ 24：29～31

24：29 **だが、これらの日の苦難に続いてすぐに、太陽は暗くなり、月は光を放たず、星は天から落ち、天の万象は揺り動かされます。**

30 **そのとき、人の子のしるしが天に現れます。すると、地上のあらゆる種族は、悲しみながら、人の子が大能と輝かしい栄光を帯びて天の雲に乗って来るのを見るのです。**

31 **人の子は大きなラッパの響きとともに、御使いたちを遣わします。すると御使いたちは、天の果てから果てまで、四方からその選びの民を集めます。**

- ①人の子は、大患難時代の後に戻って来られる。

#### (2) 黙示録 13：7

13：7 **彼はまた聖徒たちに戦いをいどんで打ち勝つことが許され、また、あらゆる部族、民族、国語、国民を支配する権威を与えられた。**

- ①大患難時代の間、地上には聖徒たちが存在している。
- ②つまり、教会が地上に存在するということである。

### (3) 黙示録 20：4～5

20：4 また私は、多くの座を見た。彼らはその上にすわった。そしてさばきを行う権威が彼らに与えられた。また私は、イエスのあかしと神のことばとのゆえに首をはねられた人たちのたましいと、獣やその像を拝まず、その額や手に獣の刻印を押されなかった人たちを見た。彼らは生き返って、キリストとともに、千年の間王となった。

5 そのほかの死者は、千年の終わるまでは、生き返らなかった。これが第一の復活である。

- ①大患難時代の後で、聖徒たちの復活が起こっている。これが第一の復活。
- ②これが第一の復活であるなら、それ以前に復活は起こらない。
- ③ 1 テサロニケ 4：16 の復活（携挙の時に起こる復活）は、第一の復活の時に起こる。

4：16 主は、号令と、御使いのかしらの声と、神のラッパの響きのうちに、ご自身天から下って来られます。それからキリストにある死者が、まず初めによみがえり、

## 3. その他の証拠

- (1) 歴史上、教会は幾多の迫害や試練を通過してきた。
  - ①それゆえ、教会は終末時代に大患難時代を通過してもおかしくない。
- (2) 聖書には「携挙」という言葉は出てこない。
- (3) 「サタンの怒り」（反キリストの怒り）と「神の怒り」を区別する。
  - ①「サタンの怒り」は、聖徒たちに向けられる。
  - ②神は、聖徒たちをふるいにかけるために、それを許される。
  - ③「神の怒り」は、反キリストと彼の王国に向けられる。
  - ④神は、ご自身の民をその怒りから守られる。

#### 4. 患難期後携挙説の弱点

(1) もし聖徒たちが大患難時代を通過するなら、ローマ 8 : 1 の約束と矛盾する。

8:1 こういうわけで、今は、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。

①ローマ 8 : 1 は、聖徒たちは神の怒りから守られると約束している。

(2) 聖書には「携挙」という言葉は出てこないが、その概念は存在している。

①「再臨」もそれと同じで、言葉は出てこないが、概念は存在している。

(3) 大患難時代の描写（黙 4 ~ 21 章）では、教会という言葉が一度も出てこない。

①教会が大患難時代を通過するという証明は、困難である。

②「聖徒」という言葉を「教会」と読み替えない限り、教会が地上に存在していることを証明できない。

(4) 多少とも、比喩的解釈を施さざるを得ない。

①患難期後携挙説者の中には、私たちは今大患難時代を通過していると主張する人がいる。

②使徒 2 章以降、大患難時代が始まったと主張する人もいる。

③このような解釈は、大患難時代が比喩なきものであることを無視している。

## II. 患難期中携挙説

### 1. 携挙は、大患難時代の間で起こる。

#### (1) 第7のラッパ（黙 11：15）

11:15 第七の御使いがラッパを吹き鳴らした。すると、天に大きな声々が起こって言った。「この世の国は私たちの主およびそのキリストのものとなった。主は永遠に支配される。」

- ①第7のラッパが鳴ると、教会は天に挙げられ、空中でキリストと会う。
- ②それに続いて、7つの鉢の裁きが地上に注がれる（黙 15～16章）。  
\*前半の3年半を患難時代、後半の3年半を大患難時代という。
- ③教会は、前半の患難時代を通過するが、後半の大患難時代は通過しない。

#### (2) この説では、携挙と再臨の間に3年半の隔たりがあることになる。

### 2. 聖句

#### (1) 2テサロニケ 2：1～3

2:1 さて兄弟たちよ。私たちの主イエス・キリストが再び来られることと、私たちが主のみもとに集められることに関して、あなたがたにお願いすることがあります。  
2 霊によってでも、あるいはことばによってでも、あるいは私たちから出たかのような手紙によってでも、主の日がすでに来たかのように言われるのを聞いて、すぐに落ち着きを失ったり、心を騒がせたりしないでください。  
3 だれにも、どのようにも、だまされないようにしなさい。なぜなら、まず背教が起こり、不法の人、すなわち滅びの子が現れなければ、主の日は来ないからです。

- ①背教が起こる → 不法の人が現れる → 主の日が来る
- ②反キリスト（不法の人）は、大患難時代の間で現れる（ダニ 9：27）。  
\*マタイ 24：15 参照
- ③それまでは（前半の3年半が終わるまでは）、携挙は起こらない。  
\*この説では、「主の日」を「携挙」と解釈する。

(2) 1 コリント 15 : 52

15 : 52 終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。

- ①この説では、「終わりのラッパ」を黙示録 11 : 15 の第 7 のラッパと解釈する。
- ②つまり、大患難時代の中に携挙があるとする。
- ③しかし、「終わりのラッパ」は、神の恵みを知らせるラッパである。
- ④それに対して、第 7 のラッパは、神の裁きを告げるラッパである。
- ⑤コリントの信者たちには、黙示録の第 7 のラッパに関する知識はなかった。  
\*彼らは、ラッパの祭りのラッパは知っていた (レビ 23 : 23 参照)。
- ⑥さらに、第 7 のラッパは、最後のラッパではない (マタ 24 : 31 参照)。

(3) 1 テサロニケ 5 : 9

5 : 9 神は、私たちが御怒りに会うようにお定めになったのではなく、主イエス・キリストにあって救いを得るようにお定めになったからです。

- ①患難期中携挙説者は、「御怒り」を大患難時代の後半の 3 年半と解釈する。  
\*鉢の裁きの期間
- ②しかし、7 年の大患難時代全体が「御怒り」の期間と解釈すべきである。

### Ⅲ. 神の御怒り前携挙説 (pre-wrathrapture)

#### 1. 患難期中携挙説に似た説に、神の御怒り前携挙説 (pre-wrathrapture) がある。

(1) 患難期中携挙説の変形として、最近提唱され始めた説である。

①携挙の時期を、大患難時代の間よりも後に置く。

(2) 黙示録 6 : 17

6:17 神と小羊の怒りの大いなる日 came 来たからである。だれがそれに耐えられるであろうか。(新共同訳)

①教会は、「神と小羊の怒りの大いなる日」が来る前に天に挙げられる。

②それゆえ、「pre-wrathrapture」(御怒り前携挙説)と呼ぶ。

③つまり、教会は大患難時代の大半を通過するが、「神の怒り」が地上に注がれる直前に携挙されるということである。

(3) 「ラッパの裁き」と「鉢の裁き」(黙 8 ~ 16 章)を「神の御怒り」と見なす。

①そして、教会はこの裁きを免れると主張する (1 テサ 5 : 9)。

②6つの封印の裁き(黙 6 章)は、「神の御怒り」とは見なさない。

\* 「神の怒り」という言葉は、6つの封印の裁きが終わるまで出てこない。

③6つの封印の裁きは、「サタンの怒り」か「反キリストの怒り」である。

\* 教会は、6つの封印の裁きを通過する。

(4) 黙示録 6 章とマタイ 24 章の比較

①6つの封印の裁きは、マタイ 24 : 4 ~ 8 と同じものであると主張する。

24:4 そこで、イエスは彼らに答えて言われた。「人に惑わされないように気をつけなさい。

5 わたしの名を名のる者が大ぜい現れ、『私こそキリストだ』と言って、多くの人を惑わすでしょう。

6 また、戦争のことや、戦争のうわさを聞くでしょうが、気をつけて、あわてないようにしなさい。これらは必ず起こることです。しかし、終わりが来たのではありません。

7 民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、方々にききんと地震が起こります。

8 しかし、そのようなことはみな、産みの苦しみの初めなのです。



②マタイ 24：29～30 が携挙のタイミングであると主張する。

24：29 だが、これらの日の苦難に続いてすぐに、太陽は暗くなり、月は光を放たず、星は天から落ち、天の万象は揺り動かされます。

30 そのとき、人の子のしるしが天に現れます。すると、地上のあらゆる種族は、悲しみながら、人の子が大能と輝かしい栄光を帯びて天の雲に乗って来るのを見るのです。

## 2. 神の御怒り前携挙説 (pre-wrathrapture) の弱点

(1) この説では、マタイ 24：22、31 に出てくる「選ばれた者」、「選びの民」を教会時代の聖徒たちと解釈する。

①むしろ、これらの用語は、大患難時代に救われた者たちと解釈すべきである。

(2) 6つの封印の裁きを「神の御怒り」ではないと主張するのには、無理がある。

①封印を解くのは、小羊である（黙 5：5、6：1）。

②その巻物を開くことのできる者は、一人もいなかった（黙 5：3～4）。

③つまり、封印の裁きは、「神の御怒り」だということである。

④第1の封印が解かれた時から、神の御怒りが地上に注がれているのである。

## IV. 患難期前携挙説

### 1. 携挙は、大患難時代の前に起こる。

(1) 教会は天に挙げられ、空中でキリストと会う。

①教会は、大患難時代を通過しない。

### 2. キリストの来臨はいつか分からないが、携挙はすぐにでも起こり得る。

(1) 患難期後携挙説では、少なくとも7年間は携挙がないことになる。

①今はまだ患難期に入っていない。

②患難期に入ったなら、携挙は7年後だということが分かるようになる。

③さらに、患難期中携挙説では、少なくとも3年半は携挙がないことになる。

④携挙の時期が分かるというのは、聖書的ではない。

(2) 患難期前携挙説では、携挙と再臨の間に少なくとも7年間の隔たりを置く。

①携挙の後、反キリストが登場する。

\* 患難期は、「不法の人」が登場しない限り、始まらない。

②「引き止めている者」が取り去られるまでは、「不法の人」は登場しない。

\* 教会の携挙とともに聖霊が取り去られる。

③大患難時代の始まりは、反キリストとイスラエルの民の契約締結である。

④ダニエル 9：27

9：27 彼は一週の間、多くの者と堅い契約を結び、半週の間、いけにえとささげ物とをやめさせる。荒らす忌むべき者が翼に現れる。ついに、定められた絶滅が、荒らす者の上にふりかかる。

### 3. 聖書的根拠

(1) 聖句

① 1 テサロニケ 1：9～10

1:9 私たちがどのようにあなたがたに受け入れられたか、また、あなたがたがどのように偶像から神に立ち返って、生けるまことの神に仕えるようになり、  
10 また、神が死者の中からよみがえらせなされた御子、すなわち、やがて来る御怒りから私たちを救い出してくださるイエスが天から来られるのを待ち望むようになったか、それらのことは他の人々が言い広めているのです。

② 1テサロニケ 5:9

5:9 神は、私たちが御怒りに会うようにお定めになったのではなく、主イエス・キリストにあって救いを得るようにお定めになったからです。

③ 黙示録 3:10 (フィラデルフィアの教会へのメッセージ)

3:10 あなたが、わたしの忍耐について言ったことばを守ったから、わたしも、地上に住む者たちを試みるために、全世界に来ようとしている試練の時には、あなたを守ろう。

④ 以上の聖句はすべて、大患難時代の中での守りではなく、大患難時代からの守りを約束している。

\* 「全世界に來らんとする試練(こころみ)のときに免れしめん」(文語訳)

(2) 「教会」という言葉

① 黙示録 1～3 章には、「教会」という言葉が 19 回出てくる。

② 再び「教会」という言葉が登場するのは、黙示録 22:16 である。

③ つまり、大患難時代を預言する箇所「教会」は登場しないのである。

④ 黙示録の構造

\* 2 章～3 章教会は地上にある。

\* それ以降、教会は、地上にある存在としては登場しない。

\* 4 章～5 章聖徒たちは勝利の冠をいただいて天にいる。

\* 6 章から 19 章大患難時代が地上を襲う。

(3) 患難期前携挙説だけが、イスラエルと教会を一貫して区別する説である。

① ダニエル 9:24

9:24 あなたの民とあなたの聖なる都については、七十週が定められている。それは、そむきをやめさせ、罪を終わらせ、咎を贖い、永遠の義をもたらし、幻と預言とを確証し、至聖所に油をそそぐためである。

- \* 70 週の預言は、ダニエルの民（イスラエル）とダニエルの聖なる都（エルサレム）に関するものである。
- \* 70 週目（7 年の大患難時代）は、イスラエルとエルサレムを清め、回復するためのものである。
- \* 大患難時代の目的は、教会の清めではない。
- ②大患難時代は、ユダヤ的性質を持った出来事である。
  - \* 「ヤコブの苦しみの時」（エレ 30：7、新共同訳）
  - \* マタイ 24 章の用語
  - \* ユダヤ（16 節）、安息日（20 節）、聖所（15 節）
- ③大患難時代は、ユダヤ人の不信仰に対する裁きが行なわれる期間である。

#### 4. 携拳は、いつでも起こり得る (imminent)

##### (1) 1 テサロニケ 5：4

5:4 しかし、兄弟たち。あなたがたは暗やみの中にはいないのですから、その日が、盗人のようにあなたがたを襲うことはありません。

- ①患難期前携拳説以外の説では、携拳の時が予想可能になる。

##### (2) 「imminent」という概念の重要性

- ①「頭上からぶら下がっていて、いつでも落ちる可能性がある」  
(ILL) ダモクレスの剣（ギリシアの説話）
  - \* シラクサの僭主ディオニュシオス 1 世の廷臣ダモクレス
  - \* 彼は、王の幸福をたたえた。
  - \* 王は、ある宴席で、ダモクレスを王座に着かせ、その頭上に毛髪 1 本で抜き身の剣をつるした。
- ②時間を設定した途端に、「imminent」ではなくなる。
- ③「imminent」な出来事は、すぐに起こるとは言えない。
  - \* しかし、すぐに起こるかもしれない。

## 5. 再臨が「imminent」なものであることを信じる信仰の歴史

### (1) 草創期の教会

- ① 「imminent」な再臨の希望は、信者の間では普遍的なものであった。

### (2) 使徒時代～ニケア会議（325年）

- ①ニケア会議以前の教会教父たちは、「imminent」な再臨信仰を支持した。

### (3) ニケア会議（325年）～宗教改革

- ①紀元4世紀になると、教会と国家が結びついた。
- ②その結果、「imminent」な再臨信仰は影響力を失った。
- ③その状況が、宗教改革の時代まで続いた。

### (4) 宗教改革（1500年代）

- ①草創期教会の「imminent」な再臨信仰が復活した。
- ② William Tyndale（英語聖書の翻訳者）
- ③ John Calvin（スイスのジュネーブで活躍）

### (5) 1600年代

- ① 「imminent」な再臨信仰は、清教徒とカベンタナー（スコットランドの盟約派）によって支持された。
- ②ウェストミンスター信仰告白（1640年代）

### (6) 1700年代

- ①千年期後再臨説の台頭の影響
- ② 「imminent」な再臨信仰は、無視されるようになった。
- ③ George Whitefield、John Wesley は、「imminent」な信仰を強調した。

### (7) 1800年代

- ①プリマス・ブレザレン運動（John Nelson Darby）は、「imminent」信仰。
- ② Haddon Spurgeon（英国のバプテスト派牧師）も「imminent」信仰。

### (8) 1900年代～現代

- ①ディスペンセーションナリズムに立つ聖書大学、神学校などが「imminent」信仰を支持する。
- ②多くの宣教団体（faithmission）も、「imminent」信仰に立っている。

## まとめ

## (1) 考慮すべきことから

- ①携挙に関する意見の相違が、信者同士の交わりを破壊してはならない。
- ②イエス・キリストの福音を信じた者は、すべて主にある兄弟姉妹である。

## (2) 携挙に与るためには、どのような準備をすればよいか。

- ①携挙に与る信者とそうでない信者がいると考えるのは、非聖書的である。
- ②成長したクリスチャンも、若いクリスチャンも、従順なクリスチャンも、不従順なクリスチャンも、救われている限りは、すべて携挙に与る。
- ③主は、ご自身のものをご存じである。
- ④マタイ 25：1～13 の「10人の娘」のたとえ話
  - \*教会はすでに携挙されている。
  - \*地上に残されている人たちについての教えである。
  - \*油を用意していない5人の娘たちは、不信者である。
  - \*油を用意している5人の娘たちは、信者である。
  - \*油とは、聖霊の象徴である。
- ⑤携挙を迎えるための準備は、日々キリストに従って歩むことである。

## (3) 子どもでも携挙に与ることができるか。

- ①これは、死んだ子どもはパラダイスに行くかという質問と同じである。
- ②聖書には、明確な教えはない。
- ③神の性質から、回答を類推することはできる。
  - \*子どもが信仰の決断をできる年齢になっているかどうかの問題である。
  - \*その年齢に達していなければ、子どもは神の恵みによって携挙される。
  - \*ユダヤ人の成人式の習慣に則って、その年齢を13歳と考える人もいる。
  - \*しかし、年齢に関しては個人差が多いと思う。神はご存じである。

## (4) 携挙の後でも、救われる人は出るのか。

- ①大患難時代にキリストを信じる人は、多く出る。
- ②144,000人の証人(黙7：4)たちは、ユダヤ人信者である。
- ③彼らは、世界宣教を行なう。
- ④黙示録6：9～11には、多くの殉教者が登場する。
  - \*彼らは、大患難時代に救われた人たちである。

## (5) なぜ終末論を学ぶ必要があるのか。

- ①知的興味のためではなく、実際の適用のためにも学ぶ。
- ②携挙が「imminent」であることを理解するなら、実生活は大きく変化する。

③祝福の具体例

- \* 日々の生活の清め  
(1 テサ 5 : 23、1 ヨハ 3 : 3)
- \* 滅びゆく人たちへの伝道の情熱  
(創 19 : 14、エゼ 33 : 6、ユダ 1 : 21 ~ 23)
- \* 迫害や試練に勝つ力  
(ロマ 8 : 18、2 コリ 4 : 17、1 テサ 4 : 13 ~ 18)
- \* 物質的束縛からの解放 (物の価値が減じる)  
(レビ 25 : 8 ~ 10、14 ~ 16 参照)
- \* 壊れた人間関係修復の動機  
(マタ 5 : 24、ヤコ 5 : 16)
- \* 忠実な奉仕に駆り立てる力 (残された時間が少ない)  
(ヨハ 9 : 4、1 テサ 1 : 9 ~ 10)
- \* 福音宣教の強力な武器  
(使 3 : 19 ~ 21、黙 3 : 3)

## 賛美

### Standing on the Promises

#### さかえの王にます主の

この天地は滅び去ります。しかし、わたしのことばは決して滅びることがありません (マタ 24:35)

R. Kelso Carter, 1886

1. さかえの王にます主の みことばに堅く立ちて  
神にはみ栄えあれと 高く歌い叫ばん

立て 立て  
永遠 (とわ) に変わらぬみことばを  
信じ 立て 神のみことばに立て

2. 世は変わるとも変わらぬ みことばに堅く立ちて  
惑い恐れ of 嵐に 心は乱されじ

3. 全く罪をきよめんと of みことばに堅く立ちて  
君の血潮を受けしに 自由の身となれり

4. 愛もて主に結びつき みことばに堅く立ちて  
悪魔に向かえば常に 勝ちえて余りあり

### Hevenu Shalom Alechem

#### ヘベヌ シャローム

(私たちはあなた方に平和をもって来ました)

♪ ヘベヌ シャローム アレヘム  
ヘベヌ シャローム アレヘム  
ヘベヌ シャローム シャローム シャローム  
アレヘム

#### 【意味】

ヘベヌ シャローム アレヘム  
(私たちはもって) (平和を) (あなた方に)

#### 【輝け主の栄光】

♪ 愛の光かがやき 暗闇を照らしだす  
わが主イエス世の光 自由を与えるちから  
いのちの みことば

輝け 主の栄光 地の上に  
こころを 燃やしたまえ  
あふれよ 主の恵み あわれみ  
この地を 生かしたまえ



## Amazing Grace

### 驚くばかりの

あなたがたが救われたのは、ただ恵みによるのです。(エペソ 2:5)

John Newton, 1725 ~ 1807

1. 驚くばかりの 恵みなりき  
この身の汚れを 知れるわれに
2. 恵みはわが身の 恐れを消し  
任(まか)する心を 起こさせたり
3. 危険をも罨をも 避け得たるは  
恵みのみわざと 言うほかなし
4. 御国につく朝 いよいよ高く  
恵みの御神を たたえまつらん

## KI KO AHAV

### キ コ アハブ (ヨハネ 3:16)

♪ キ コ アハブ エロヒム エ ハオラム  
アドキナタン エットビョ イエヒド  
ラマーン ロ ヨヴァッド  
コ ハマーミ ンボ  
エーラ インハル ハエ オラム

♪ 神はそのひとり子を与えたほど  
世を愛された  
御子イエスを 信じる者が  
永遠の命を 持つために

ハレルヤ×4 アーメン

ハレルヤ×3 アーメン

## Hinne Ma-tov Umanaim

### ヒネイ・マトーブ・ウマナイム

(兄弟が共に座すことはすばらしい)

見よ。兄弟たちが一つになって共に住むことは、  
なんとというしあわせ、なんとという楽しさであろう。

(詩篇 133:1)

♪ ヒネイ マトーブ ウマナイム  
シェベト アヒーム ガム ヤハド  
(繰り返し)

#### 【意味】

ヒネイ マ トーブ  
(見よ) (何と) (良いことだろう)

ウマ ナイム  
(何と) (心地よい事か)

シェベトアヒーム ガム ヤハド  
(兄弟たちが座し) (共に) (一緒に)

## Hodu l'Adonai ki Tov

ホドゥ ラドナイ キー トヴ

主に感謝せよ

【主】に感謝せよ。主はまことにいつくしみ深い。  
その恵みはとこしえまで。(詩篇 136 : 1)

Batya Sebastian

♪ ホドゥ ラドナイ キー トヴ  
キ レ オラム ハスド  
ホドゥ ラドナイ キー トヴ  
キ レ オラム ハスド  
ホドゥ ホドゥ ホドゥ ホドゥ ホドゥ  
ラドナイ キー トヴ  
ホドゥ ホドゥ ホドゥ ホドゥ ホドゥ  
ラドナイ キー トヴ

♪ 主に 感謝せよ  
主は まことに  
いつくしみ 深くあり  
恵みは とこしえに  
感謝 感謝 感謝 感謝 感謝せよ 主に  
感謝 感謝 感謝 感謝 感謝せよ 主に

## 【意味】

ホドゥ ラドナイ キー トヴ  
(感謝せよ) (主に) (良い方に)

キ レ オラム ハスド※  
(とこしえまで) (恵みは)

※「ハスド」は「契約に基づいた恵み」という意味

## When the trumpet of the Lord shall sound

世の終わりのラッパ

ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、  
私たちは変えられるのです。(1 コリ 15 : 52)

James M. Black, 1893

1. 世の終わりのラッパ鳴りわたるとき  
世は常世(とこよ)の朝となり  
救われし者は四方(よも)の隅(すみ)より  
すべて主のもとに呼ばれん  
  
その時わが名も その時わが名も  
その時わが名も 呼ばれなば必ずあらん
2. そのとき眠れる聖徒よみがえり  
栄えのからだに変わり  
われらも共にたずさえ上げられ  
空(そら)にて主に会いまつらん
3. 世のわざを終えて天(あま)つ憩(いこ)いに  
招かる日近ければ  
なおも 主の愛を世人(よびと)に語り  
御栄えのために尽くさん

## さらに聖書を学びたい方へ

聖書の学びに役立つ情報やメッセージが、以下のウェブサイトを提供されています。

### メッセージステーション

中川健一牧師による聖書解説メッセージが、インターネット上の「メッセージステーション (<http://www.harvesttime.tv/>)」で無料配信されています。聖書がヘブル的（ユダヤ的）視点で解き明かされています。なお、メッセージステーションのメッセージは以下のサイトでも配信されています。

### 音声

- (1) Apple iTunes Store（「メッセージステーション」で検索。
- (2) <http://message-station.audio>

### 動画

- (1) YouTube (<http://www.youtube.com/user/HarvestTimeMin>)
- (2) Vimeo (<http://vimeo.com/harvestjapan/>)

### メッセージステーション・アプリ

スマートフォンやタブレットをご使用の方は、メッセージステーションのアプリもご利用いただけます (<http://subsplash.com/messagestation/app>)。Apple App Store または Google Play ストアにて、「ハーベスト・タイム・メッセージステーション」アプリをダウンロードしてください。聞きたいメッセージにすぐにアクセスできます。

### 聖書入門.com

聖書入門.com (<http://seishonyumon.com/>) は、初心者向けに聖書を解説したサイトです。その中でも、中川健一牧師が聖書やキリスト教に対する疑問に3分間で答える動画、「3分でわかる！聖書」が好評です。コンテンツは頻繁に更新されますので、定期的にサイトを訪れてみてください。

### オンラインショップ

ハーベスト・オンラインショップ (<http://harvestshop.net/>) では、書籍『クレイ聖書解説コレクション』をはじめ、聖書を本格的に学ぶための書籍やDVD、CDを購入できます。便利なデジタル版のみを販売しているハーベスト・デジタルショップ (<http://harvestdigital.shop>) もあります。



すべてのサービスはこちらから簡単アクセス！

# 第8回 再臨待望聖会

## タイムスケジュール

(各聖会の間には小休憩があります。)

### プレ大会

#### 札幌・沖縄会場

13:00～	開場		
13:30～15:00	聖会Ⅰ	本大会メッセージの要約	中川健一
15:00～16:30	聖会Ⅱ	本大会メッセージの要約	中川健一

#### 名古屋会場

13:00～	開場		
13:30～15:00	聖会Ⅰ	特別講師メッセージ	エイタン・バール、中川健一
15:00～16:30	聖会Ⅱ	特別講師メッセージ	エイタン・バール、中川健一

#### 大阪会場

9:30～	開場		
10:00～11:30	聖会Ⅰ	特別講師メッセージ	エイタン・バール、中川健一
11:30～13:00	聖会Ⅱ	特別講師メッセージ	エイタン・バール、中川健一

### 本大会

#### 東京会場

9:30～	開場		
10:00～11:30	聖会Ⅰ	「インターネット時代のユダヤ人伝道(1)」	エイタン・バール
11:30～13:00	聖会Ⅱ	「インターネット時代のユダヤ人伝道(1)」	エイタン・バール
13:00～14:00	昼休憩		
14:00～15:30	聖会Ⅲ	「携挙はいつ起こるのか(1)」	中川健一
15:30～17:00	聖会Ⅳ	「携挙はいつ起こるのか(2)」	中川健一